

令和4年7月22日

第1学年の保護者の皆様

苫小牧市立明倫中学校校長 遠藤 玲

令和4年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月19日（火）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和4年4月19日（火）

(2) 調査対象

市内中学校第1学年

(3) 検査内容等

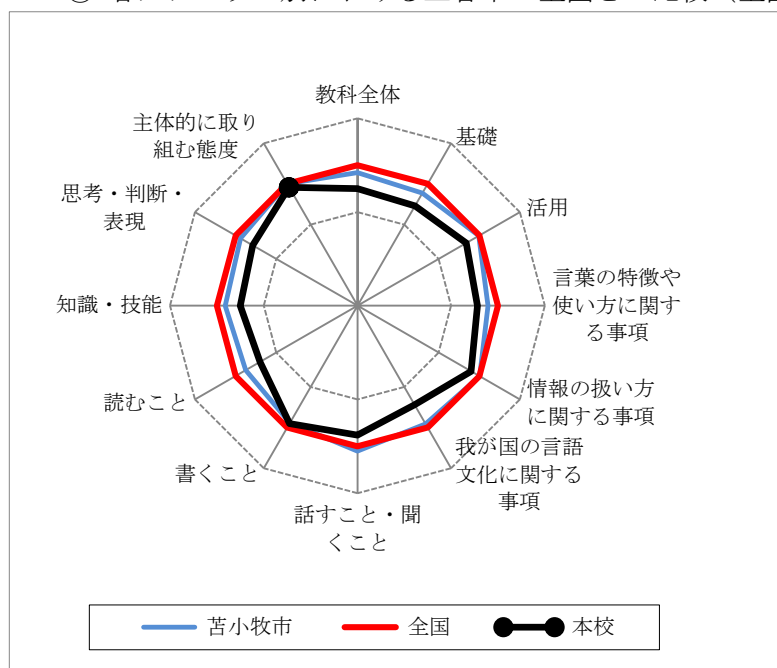
① 国語科及び数学科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）

② 全国学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

① 各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



②考察

【全体的な結果について】

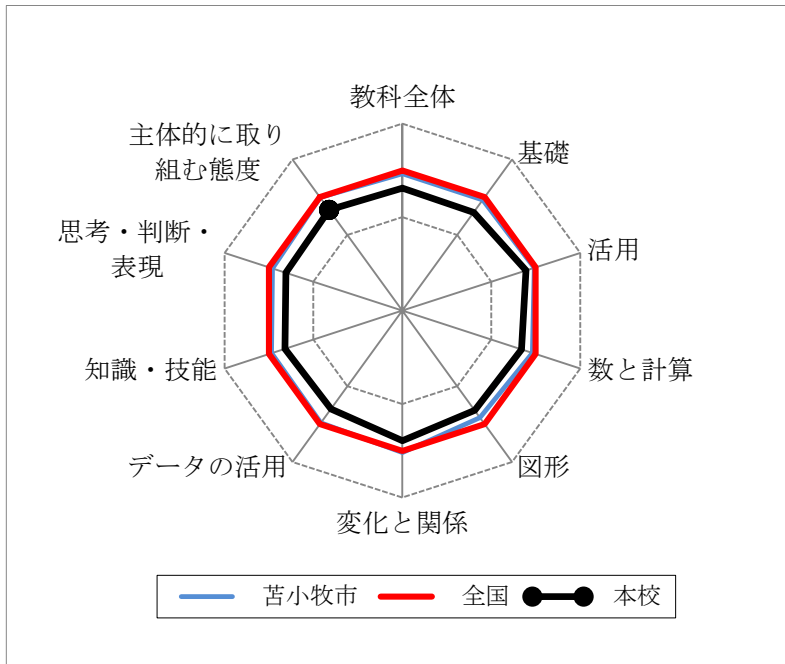
- ・すべての項目で全国平均・苫小牧市平均を下回っている。しかし、「書くこと」、「主体的に取り組む態度」は全国平均とほぼ同等な状態にある。
- ・問題の内容では「文法・語句に関する事項」、領域では「読むこと」、観点では「知識・技能」に課題があると言える。

【今後の方策】

- ・国語科の授業では、読んだり書いたりするための基礎・基本となる語句や語彙の量を増やしていくことで言語についての知識や技能を高める。「読む」力を高めるために文章全体の構成や登場人物の心情描写を捉える機会を多く設ける。

(2) 数学科

①各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）



②考察

【全体的な結果について】

- ・すべての項目で全国平均・苫小牧市平均を下回っている。しかし、活用は全国平均に近づいている状態である。
- ・問題の内容では「整数の性質」、領域では「データの活用」、観点では「思考・判断・表現」に課題があると言える。

【今後の方策】

- ・数学科の授業では、小学校で習った内容と関連付けて、基礎的・基本的な事項を身に付けさせることが必須である。特に「整数の性質」については、問題を繰り返し練習することで確かな力が身に付くよう支援していく。「データの活用」については、既習事項とこれから学ぶことを関連づけ、知識・技能として身に付くようにしていく。また、「思考・判断・表現」については、学び合いの時間や習熟度での授業を設定することで着実に学習内容が身に付くように授業を進めていく。